

議会ガイド



質問する子ども議員

新庁舎議場で 子ども議会開催

2月3日(金)、町内の小学校(中里・武田・薄市・小泊)4校から議長や議員に選ばれた生徒達による「子ども議会」が開催されました。

第4回定例会 (平成28年12月)

目次	■ 第4回定例会	……………	P 2
	■ 一般質問	……………	P 4
	■ 活動報告	……………	P 9
	■ 議会の動き・委員会だより	……………	P 10

インフルエンザ予防接種無料化へ

高齢者に続き0歳から中学校卒業まで無料

第4回 定例会

11月30日～
12月6日

平成28年第4回定例会が、11月30日から12月6日までの日程で開かれました。5日には一般質問が行われ、荒関富雄議員、川山光則議員、鈴木長一郎議員、長利司議員、青山雅晴議員の5名が、町側の答弁を求めました。

最終日の6日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など報告1件、議案19件、発議1件をいずれも全会一致で承認、可決、同意しました。

補正予算

■一般会計補正予算第7号

予算総額に1億7771万円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

新庁舎落成式委託料

291万円

旧庁舎敷地内電柱等撤去委託料

300万円

ふるさと納税事業

△2960万円

□民生費

臨時福祉給付金

5017万5千円

町外特定教育・保育施設入所事業

1211万4千円

□農林水産業費

青森県産地パワーアップ事業

1524万円

県営十三湖地区経営体

育成基盤整備事業

1億2500万円

□土木費

町道補修事業

230万円

公営住宅修繕料

200万円

□消防費

五所川原地区消防事務組合負担金

△1801万9千円

備品購入費(災害用豊

他)

716万円

□教育費

武田小学校給食用エレベーター改修工事費

124万2千円

■一般会計補正予算第8号(追加議案)

□衛生費

乳幼児・子どもインフルエンザ予防接種

504万円

診療施設勘定は予算総額に18万2千円追加するもので、歳出の主なものは、職員人件費の調整。

432万9千円

84万円

出産育児一時金

150万3千円

一般被保険者高額療養費

109万5千円

負担金

24万9千円

150万3千円



■国民健康保険特別会計

補正予算第4号

事業勘定は予算総額に526万4千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

150万3千円

109万5千円

150万3千円

■介護保険事業特別会計

補正予算第3号

予算総額に31万8千円追加するもので、歳出の主なものは、職員人件費の調整。

150万3千円

109万5千円

150万3千円

■特別養護老人ホーム静

和園事業特別会計補正

予算第3号

予算総額に3254万8千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

長期債繰上償還金

3289万4千円

■後期高齢者医療特別会

計補正予算第2号

後期高齢者医療連合納付金として予算総額に20万2千円を減額するもの。

■水道事業特別会計補正

予算第3号

予算総額に26万2千円追加するもので、歳出の主なものは、職員人件費の追加。

条例関係

■町庁舎会議室等の使用

に関する条例の制定

新庁舎の会議室等で、

一般利用者の使用方法並びに貸出方法を定める。

■議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例を廃止する条例の一部改正

県に準じて、町議会議員、特別職、教育長の期末手当の支給割合を改める。

■町職員の給与に関する条例の一部改正

■町企業職員の給与に関する条例の一部改正

県に準じて、職員給料月額、扶養手当及び勤労手当等の額を改定する。

■報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

中泊町鳥獣被害対策実施隊の設置に伴い、新たに報酬を定める。

■保健センター条例の一部改正

新庁舎に中里及び小泊保健センター職員が異動になることから、条例の一部を改正する。

■指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び中泊町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法改正に伴い、条文の一部を改正する。

■特別養護老人ホーム条例の廃止

特別養護老人ホームの民営化により静和園を平成29年3月31日で廃止するため条例を廃止する。

人事案件

■人権擁護委員候補者の

推薦

現委員の佐々木守善氏の任期が、平成29年3月31日をもって満了となるため、同氏を再推薦するもの。

専決処分

■一般会計補正予算第6号

沖縄県久米島町の台風

被害に係る見舞金として100万円を追加するもの。

その他

■つがる西北五広域連合規約の変更

つがる西北五広域連合規約の変更について、関係地方公共団体と協議する必要が生じたので、議会の議決を求めるもの。

発議

■安全・安心の医療・介護を求める意見書

医療・介護の現場では、従事者不足の解消と労働環境の改善は必要であることから、国関係省庁に意見書を提出するもの。



4月より民営化になる静和園

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会 平成29年 第1回定例会は、3月上旬です。会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成28年第4回定例会の傍聴者は、3名でした。皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問

・教育部門の職員減は ・給食センター・運動公園の広域的な連携を



荒関富雄議員

り、その中で事務事業、組織、機構の見直しや施設の統合を含めた維持経費の削減や職員の適正配置等を一体的に取り組んでいる。

今後5年間で46名の職員が定年退職の予定があり、新採用職員を退職者の半数程度に抑え、再任用職員及び民間機能の活用等に対応していく計画である。

Q 定員管理計画の中で教育部門の職員数は、平成28年度で27名でありながら、平成33年には15名となっているが、教育関係機関の中で機構改革を行い定員を減らしていくのか。

A ■飯塚総務課長
新庁舎の移転と合わせて行財政改革を進めてお

中央公民館、体育センター、文化ホールなども、正職員を減らし、再任用職員の配置で対応する予定であり、教育部門の職員が減っているのは、あくまでも正職員の方であり、再任用職員はカウントされてないため、実際には再任用職員10人程度配置する計画となっている。

Q 当町の給食センターは、年々生徒数が減少しているが、供給的能力は十分



中泊町学校給食センター

あると思われる、町単独だけでなく広域での利用を考えるべきでは。

また、運動公園は、西北五管内での公認グラウンドとして大きな大会等が開催されているが、だいぶ年数もたち当町だけで維持管理が可能なのか。今後は、財政的にも広域的な連携を進め各施設の維持管理をしなければならぬのでは。

A ■飯塚総務課長
広域的な連携事業の推進に関して、関係市町で協議を進め連携して推進する取り組みを行っている。

その中で、広域連携も含め将来を見据えた学校給食の供給体制を検討協議していくこととしており、少子化の影響などにより圏域の既存施設を共同利用することにより、各市町の学校給食の効率化を図ることとしているが、まだ具体的に個別の協議までには至っていない状況である。

また、運動公園等の公共施設の相互利用についても圏域内で相互利用が可能な施設の情報を共有し、圏域住民が同じ条件のもとで利用できるような促進を図っていくこととしていますが、これもまだ個別の施設や経費負担などまでは協議されていない。

現在、区域間の圖書の貸し出しについては、既に実施されているが、他の取り組みについては、今後具体的内容について協議されていくことになり、施設の広域連携は施設維持費の大幅な削減にもつながることから、十分な内部調整をし、積極的に取り組んでまいりたいと考えている。



大会が行われる運動公園陸上競技場

・地域振興に林業関係は ・いまべつ駅～中里駅間の連絡バス利用促進を



川山光則議員

Q

地域振興について、これまで農業・漁業は確立されてきたが、今バイオマス発電や木造建築の促進など木材の需要が高まっており林業関係にも力を入れるべきでは。

A

■小野町長

当町の民有林の面積は1716haで、杉が主体とした人工林の面積は865haと、人工林率が50%となっている。林齢は35年以下の若齢林部が2

92ha、そして率では17%であり、今後は保育間伐などを適正に実施していくことが重要となっており、それ以外はほとんど国有林となっている。

町としても造林とか林道など林業生産基盤の整備とか林産事業の振興などの対策に努めてきたところであるが、森林は木材を生産する機能のほかに国土の保全、水源の涵養、土砂流出など多様な機能を有しており、住民の森林に対するニーズは、近年これら森林の發揮する広域的機能に向けられている。

今後は、森林経営計画を作成して、間伐、皆伐の作業を計画的に行う必要がある、間伐を行った場合は、新たな植栽を強いられ、植栽、下刈り、除伐等の作業が必要となることから、作業員の雇用も必要となり、経済的にも効果が上がり、伐採した木材については有効活用、例えばバイオマス

の発電とかにも供給できることになり、今後検討していく必要があると考えている。

Q

奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間の連絡バスは、利用率が低迷しているが、計画を見直し一日一本でも小泊方面のコースを企画できないものか。

また、観光振興の目玉として水陸両用バスを十三湖で走らせるなど新しい企画を出し宣伝してみたい。

A

■飯塚総務課長

連絡バスの利用状況は、一日4往復で3月から10月までの延べ運行日数220日で1573人、今別行きが約40%の636人、中里行きが約60%の937人となっている。1便の平均では0.89人と1人に満たない乗車

人員となっており、これは当初見込んだ1便当たり4人を大幅に下回っている。

町でも小学校の修学旅行へバス料金の助成など実施しているが、残念な結果となった。

来年度は生活路線として国の補助を申請中であり、当面5年間の予定で少なくとも負担ではあるが、引き続き連携して取り組むこととしている。また、この路線は生活

路線としての位置づけなので、竜飛から小泊を通る観光的な運行はできないこととなっている。

多くではないが、確実に中里駅まで乗車する観光客は増えてきていると思われ、今後の利用状況なども踏まえて、次の対策としてその2次交通から関係市町村で津軽半島全体の広域的な観光振興を進める必要があると考えている。

その目玉として水陸両用バスの提案と思うが、かなり高額なものであり、十三湖を通るということであれば、五所川原市との合意や漁業権の問題、湖の水深の関係それから運行には国交省の認可なども必要で、非常に難しいものと考えられる。これからの将来に向けて地域全体の検討課題として考えていきたいと思う。



津軽中里駅～奥津軽いまべつ駅間連絡バス

・ 県営事業の工事に伴う道路補修は



鈴木長一郎議員

Q

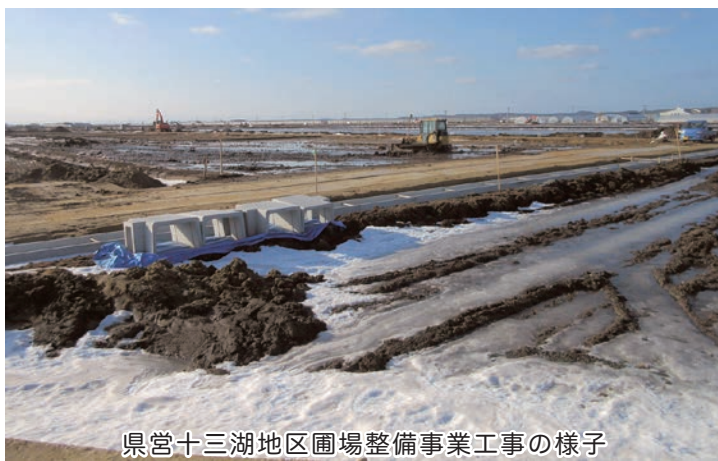
現在、県営十三湖地区圃場整備事業工事が行われ、工事関係の大型ダンプが町道を頻繁に走っている。

それに伴い道路が壊れている所が増えており、この補修工事はどこで対応し、いつ頃直せるのかお聞きしたい。

A

■藤森農政課長

平成28年度から平成37年度までの10年間の予定で、県営事業において十



県営十三湖地区圃場整備事業工事の様子

三湖地区圃場整備事業工事が本格的に着工し、全体計画としては1444haのうち、本年度は約112haの区画整理が実施されることに伴い、町に与える経済的効果はわかり知れないものがあると思われる。

この工事が施工されたことに伴い多数の大型ダンプ等の工事車両が走行しているが、町道が壊れた場合の補修は、事業主

体である県に確認したところ、現在のところ道路に関する補修に関しては、協議もしていないし、考えてもいないという回答であった。

町としては、工事期間中に路肩の弱いところには敷鉄板などで養生するなどお願いしたいと考えている。

また、工事期間中であれ工事完了後においても町道に破損があつた場合には、県に補修をお願いして、今後とも道路管理担当部署とともに道路維持に努めていきたいと考えている。

A

■小野町長

町道は、町の道路であり当然町で補修していくが、県でも補助金とかいろいろあるので、そちらのほうもお願いしていきたい。

町道はあくまでも我々の責任であるので、今質問のあつたように養生しながら最低限にやっていたり、できるだけ申し入れてまいるので、よろしくお願ひしたい。



道路保護のために敷かれた敷鉄板

一般質問はインターネット・ライブ中継がご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにもテレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>



・新庁舎の防災体制は ・町長の政治姿勢について



小野町長 答弁

新庁舎の防災体制は、避難所となる集会施設や危機管理室の設置、防災機器の充実などきめ細やかに整備されていると聞いているが、消防団長の立場から防災体制について、具体的に示していただきたい。

Q



長利司議員

■小野町長
新庁舎と防災体制については、新庁舎の建設の目的の一つである防災拠点としての機能強化のため、大会議室の整備や危機管理室及び防災無線室の整備及び防災無線の機能強化を図り、万が一の災害に対応することとし

A

■小野町長

たものである。災害が発生した場合には大きな役割を果たすのは消防団の皆様であり、これまで迅速に対応していただいている。新庁舎の機能を消防団の皆さんにも十分ご説明し、ご理解を賜るための会議等も開催するつもりであり、災害はいつ発生するか分からないので、長利議員



完成した役場新庁舎

は消防団長も務めており、町民の安心安全のため万全の体制を整えていただくようお願いする。

Q

小野町長のこれまで多くの実績と経験を積んでこられた政治手腕が必要不可欠であると思うが、次期町長選に再度出馬していただきたいと期待を込めて出馬の意思があるのか、お答えいただきたい。

A

■小野町長

町長選挙に出馬するかとの質問で、この時期に来て未だに私の意思を町民の皆様にお伝えできないことに対し、申しわけなく思っている。

ただ、新庁舎の落成式まで日程がびっしり詰まっております。私としては、50年に一度のこの大きな事業である新庁舎を無事完成させたいとの思いでいっぱいである。これが私の責任のものでやらなければということ、私の進退については、その



災害対策本部となる危機管理室



避難所としての機能がある大会議室

後でいいとの思いから、支援していただいている議員の皆様初め後援会の皆様にも相談していない。まずは新庁舎を無事開庁にこぎ着け、落ち着いた段階で態度を決めたいと考えている。誠に申しわけないが、いましばらく時間をいただき、今の段階で町長選挙に出馬するかしないかについてお答えできないことをお許しいただきたいと思っております。

・北海道新幹線開業に伴う当町の経済効果は ・今泉～大平間の通信網について



青山雅晴議員

Q

北海道新幹線関係の質問は、先ほど川山議員の質問で重複する部分もあり、その答弁を聞いたので、あえて私からは質問しません。

Q

今泉から外ヶ浜町へ向かう県道(通称・やまなみライン)で、今泉の旧ドライブイン付近から大平トンネルあたりまで携帯電話が繋がらず、緊急時に連絡することができない状況だ。

この区間は、特に冬期間の交通事故が非常に多く、連絡するにはそこを通行中の車などに頼むか、やまなみトンネルの手前の公衆電話ボックスを利用するしかなく、なんとか通信網の整備等ができないものか。

A

■飯塚総務課長

この区間は携帯が繋がらず、交通事故等があった場合、緊急車両等への連絡がとれない状態との

ことで現地を調査した結果、確かに旧ドライブインがあった地点あたりからトンネルを抜けて蟹田地区に入るまでの間、携帯が繋がらないことが確認できた。

やまなみトンネル前の駐車場には電話ボックスが設置され通話が可能であり、トンネル内には緊急用の電話が設置されているが、旧ドライブインからこのトンネルまではかなりの距離があり、交通事故だけでなく災害による不測の事態等があつ

た場合通行不能となる場合も考えられる。

このことから、万が一に備えて途中にもう一カ所通話できる設備の設置が可能かどうか、NTTに確認したところ、電話ボックス等の公衆電話の設置には距離により定められており、総務省に申請許可を受けなければならぬとのことであつた。緊急電話については、災害があつた場合に車両による緊急電話の設置は可能であるが、通常での設置は制約があり難しい

との回答であつた。また、携帯電話会社のほうにも今の状況を説明し、何らかの改善対策の検討をお願いした。

同区間については、坂道でもあり、冬期間は事故の起りやすい箇所と思われる、今後道路管理者である県にも相談し、またその有効な通信手段の対策がないか、関係機関、団体等と連絡をとり合いながら検討、要望していきたい。



旧ドライブイン(中泊町今泉)
ここから携帯電話が繋がらない



やまなみトンネル前電話ボックス



大平トンネル(外ヶ浜町)
ここから携帯電話が繋がる

活動報告

三常任委員会視察研修

10月20日(木)～21日(金)の日程で、三常任委員会(総務企画・民生文教・産業建設)合同による視察研修を行いました。

津軽中里駅から奥津軽いまべつ駅まで連絡バスを乗車体験後、北海道新幹線で木古内町を訪問し、道の駅「みそぎの里きこない」で、新幹線開通に伴う「渡島西部、檜山南部9町における広域観光の取組」について説明を受けました。

(有)大沼肉牛ファーム北海道小澤牧場の視察では、最新設備を導入し飼料の配合・飼育から「はこだて大沼牛」として肉の出荷まで徹底管理され、単年度売上20億円以上となっています。



木古内町での研修



小澤牧場視察の様子

町村議会議長全国大会

11月9日(水)、東京都渋谷区の「NHKホール」において、町村議会議長全国大会が開催されました。

来賓に安倍総理ほか多数の国会議員が出席され、各要望事項を提案し満場一致で採択されました。



来賓挨拶する安倍総理

西北津軽郡町議会議長会視察研修

11月10日(木)～11日(金)の日程で視察研修が行われ、東京都内及び埼玉県内の各施設を視察しました。

その一つである都内千代田区の「パソナグループ・アーバンファーム」では、ビル内の各スペースに様々な植物(花・野菜・水稻他)を栽培し、その中に「晴天の霹靂」もあり年3回も収穫できることに驚きました。



ビル内での栽培

知事を囲む行政懇談会

11月22日(火)青森市の「ホテルクラウンパレス青森」において、知事を囲む行政懇談会が開催されました。

西北津軽郡議長会からは、深浦町の工藤博利議長が代表して「津軽国定公園の区域及び計画の見直しについて」要望し、知事及び担当部長が回答しました。



三村知事より挨拶

12月

- 13日 北津軽郡社会福祉大会
- 12日 新庁舎建設工事竣工式
- 9日 高規格道路整備促進総決起大会
- 6日 単行案審議・採決・閉会
- 5日 定例会一般質問

11月

- 30日 第4回定例会開会日
- 25日 中泊町善行者・功労者表彰式
- 22日 知事を囲む行政懇談会
- 22日 議会運営委員会・民生文教常任委員会
- 18日 議会運営委員会研修(仙台)
- 17日 議会運営委員会研修(仙台)
- 11日 西北津軽郡町議長会視察研修(東京)
- 10日 西北津軽郡町議長会視察研修(埼玉)
- 9日 町村議会議長全国大会(東京)

10月

- 5日 十三湖二期地区土地改良事業要請活動(東京)
- 6日 十三湖二期地区土地改良事業要請活動(仙台)
- 11日 西北津軽郡町議会議長会第2回協議会
- 20日 三常任委員会視察研修(函館方面)
- 21日 三常任委員会視察研修(函館方面)
- 27日 正副議長・事務局長研修会

民生文教常任委員会

(荒関富雄 委員長) 11月22日(火)

〈案件〉

- 安全・安心の医療・介護を求める陳情書

【審査結果】

医療・介護の現場では、長時間労働など労働環境は厳しい実態にあるため、離職者も増大し、深刻な人手不足となっている状況であり、従事者不足の解消と労働環境の改善は必要とのことから、趣旨を認め採択すべきものと決定。



民生文教常任委員会の様子

議会運営委員会

(長利 司 委員長) 11月22日(火)

〈案件〉

- 平成28年第4回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営について
- 提出議案について
- 陳情等の委員会審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



議会運営委員会の様子